

KVK

ソーラー2ハンドルシャワー・混合栓

KF53N3・KF51C3・KM53N3・KM51C3

施工説明書

施工業者様へ


施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。
■この施工説明書はKM53N3仕様のイラストで説明しています。


安全上のご注意


- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です


 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です


**警告**


 禁止
湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

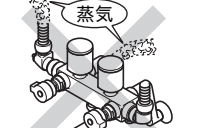
 禁止
給湯に蒸気を使用しないでください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。


 注意
給湯圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。また、給湯器を使用する場合、湯側を加圧する場合も湯側圧力を水側より低くしてください。
給湯圧力を給湯圧力より高くすると、正常な温度調節ができなくなり、やけどをするおそれがあります。

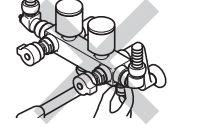
 禁止
湯水温度は85℃より高温で使用しないでください。
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。


 禁止
水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。


 注意
スチームルーム及び乾燥室にご使用の際は相談ください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。


 禁止
加工及び接合等の改造はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。


 禁止
配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。
通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 注意
他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。

**注意**

 禁止
器具に強い力や衝撃を与えないでください。
器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

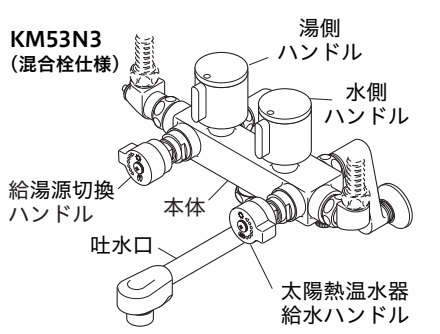
 禁止
めっき部品は、ぶつかけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。
めっきの表面が割れて、けがをすることがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。

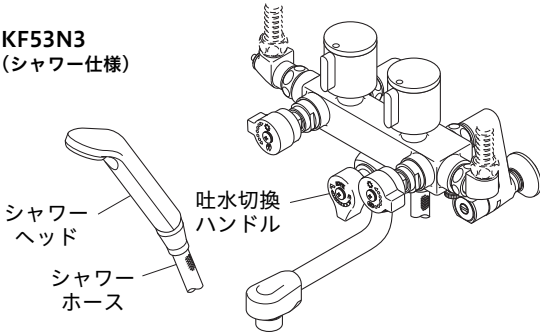
 注意
凍結が予想される際は、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。
凍結を防止しないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

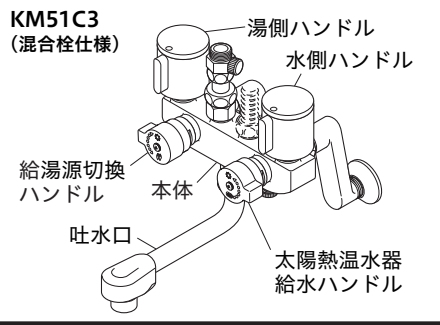
取り付け前に

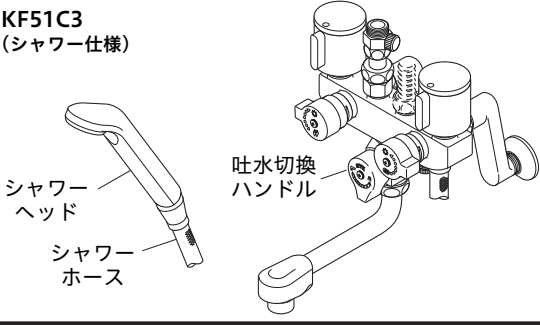
- ① 使用水圧（A=（給湯器の最低作動水圧）+（配管圧力損失））
- ② 瞬間給湯器との組み合わせ（設定条件 水温：25℃ 給湯器温度調節：高温 吐水温度：42℃ ハンドル全開）
〔比例制御式〕最低必要水圧：A+50.0KPa（動水圧）、最高水圧：0.75MPa（静水圧）
- ③ 貯湯式給湯器との組み合わせ
〔給湯・給水圧力〕最低必要水圧：A+50.0KPa（動水圧）、最高水圧：0.75MPa（静水圧）
- ④ 給水圧力は太陽熱温水器の圧力より低くするか、同圧になるようにしてください。
- ⑤ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑥ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑦ 本体（シャワー仕様の場合はシャワーヘッド）より4m以上の高さの所に設置してください。
- ⑧ 本製品は改造（加工及び接合等）によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑨ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

取り付け完成図と各部の名称

**KM53N3**
(混合栓仕様)
湯側ハンドル
水側ハンドル
給湯源切換ハンドル
本体
吐水口
太陽熱温水器給水ハンドル

**KF53N3**
(シャワー仕様)
シャワーヘッド
シャワーホース
吐水切換ハンドル

**KM51C3**
(混合栓仕様)
湯側ハンドル
水側ハンドル
給湯源切換ハンドル
本体
吐水口
太陽熱温水器給水ハンドル

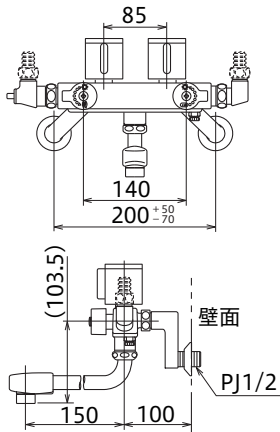
**KF51C3**
(シャワー仕様)
シャワーヘッド
シャワーホース
吐水切換ハンドル

寸法図 / 分解図

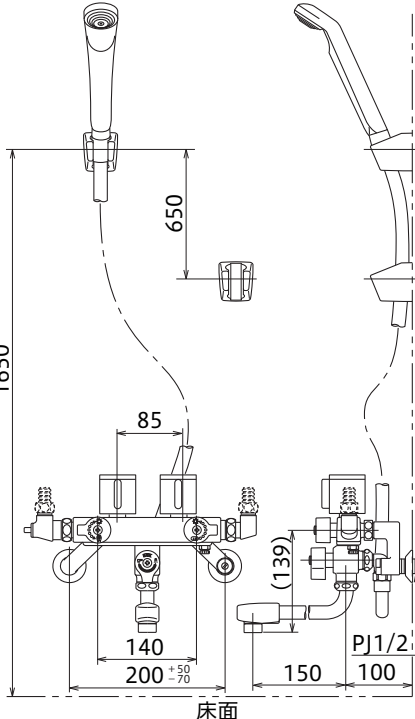
部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

寸法図

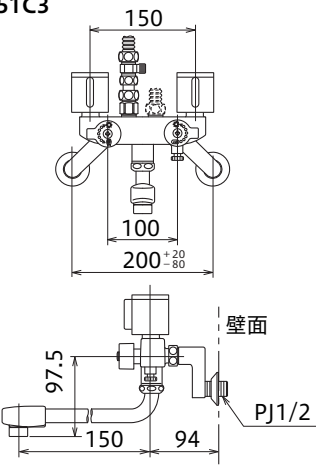
混合栓仕様 **KM53N3**



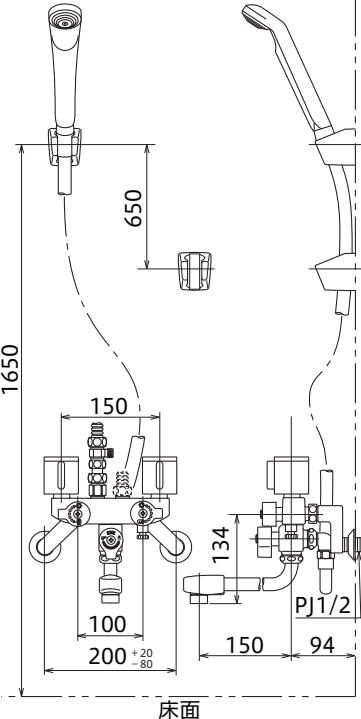
シャワー仕様 **KF53N3**



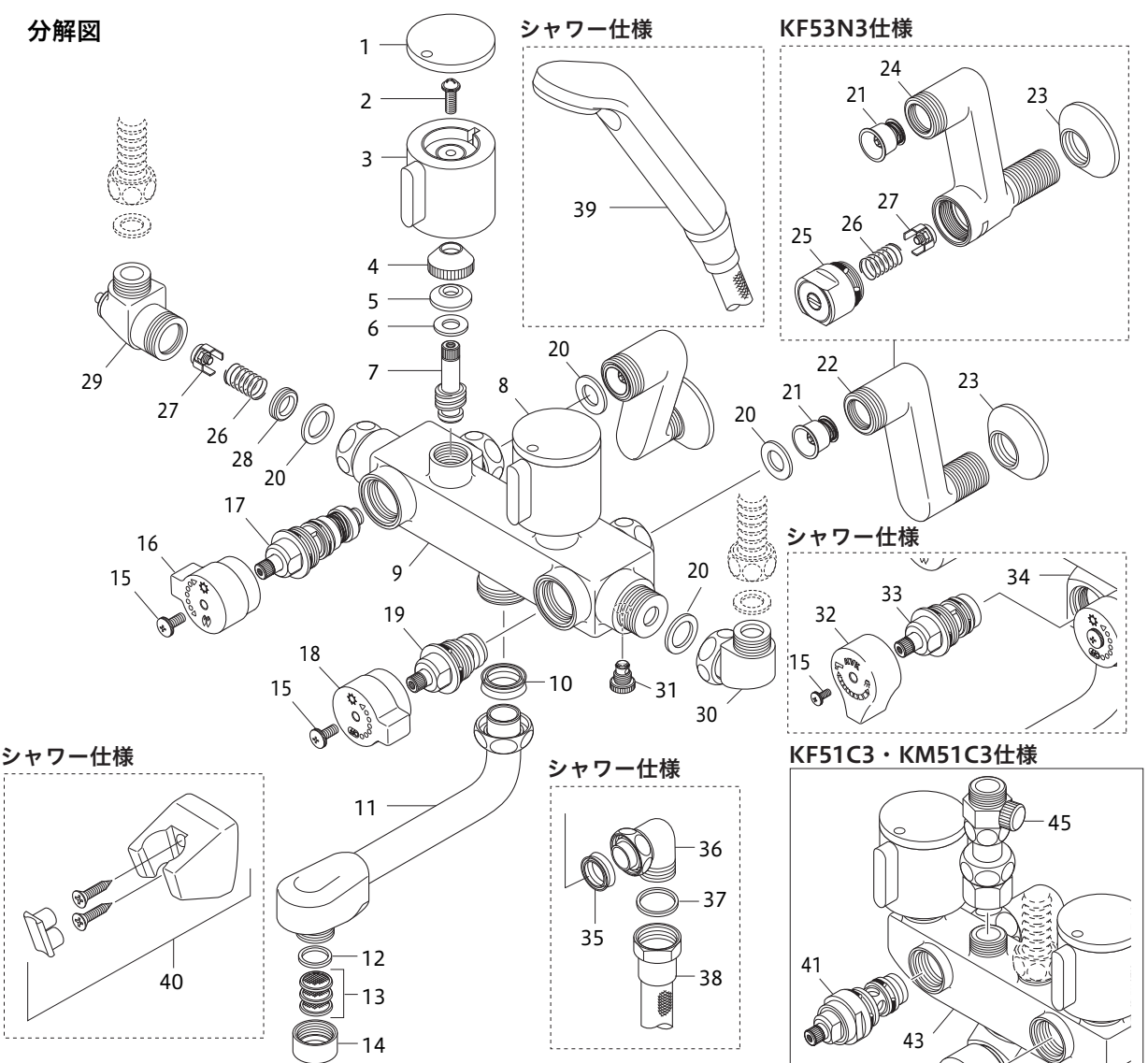
KM51C3



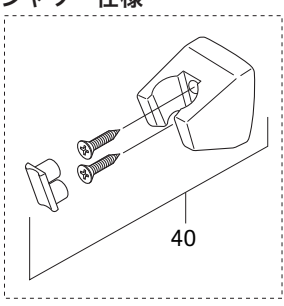
KF51C3



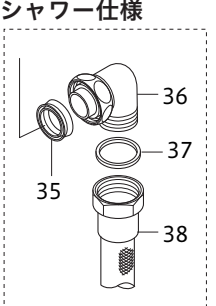
分解図



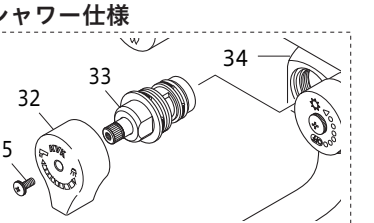
シャワー仕様



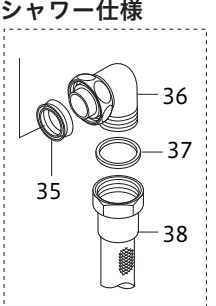
シャワー仕様



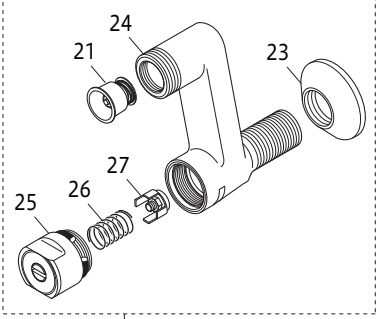
シャワー仕様



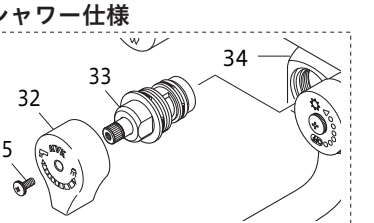
シャワー仕様



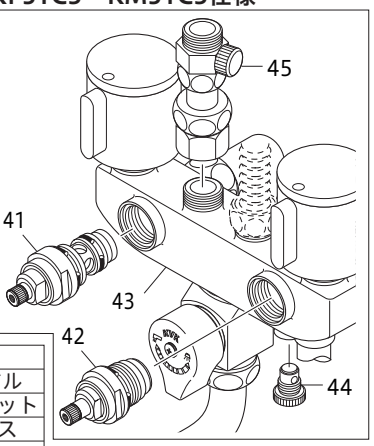
KF53N3仕様



シャワー仕様



KF51C3・KM51C3仕様



1 湯側キャップ	11 吐水口	21 逆止弁	31 水抜き栓
2 ねじ	12 パッキン	22 ソケット	32 吐水切換ハンドル
3 ハンドル	13 ストレーナ	23 送り座	33 切換弁ボンネット
4 袋ナット	14 整流器キャップ	24 ソケット	34 切換弁ボックス
5 三角パッキン	15 ねじ	25 ボンネット	35 Xパッキン
6 座金	16 給湯源切換ハンドル	26 スプリング	36 シャワーエルボ
7 固定こま	17 切換弁ボンネット	27 逆止弁	37 パッキン
8 水側キャップ	18 太陽熱温水器給水ハンドル	28 ねじリング	38 シャワーホース
9 本体	19 切換弁ボンネット	29 エルボ	39 シャワーヘッド
10 Xパッキン	20 パッキン	30 ジョイントエルボ	40 シャワーハンガー

取り付け手順

1

給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。

2

ソケットと本体の取り付け

① ソケットのねじ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。

【お願い】・図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。（シールテープの巻き数にて調節してください。）

・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。

② ソケットと本体を接続します。

【⚠ 注意】 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

〈図1〉 上から見た図

〈図2〉 前から見た図

① 垂直にねじ込む

湯側ソケット

水側ソケット

パッキン面をそろえる

② 接続

パッキン

本体

湯側ソケット

水側ソケット

ハの字にする

3

太陽熱温水器の取り付け

本体を太陽熱温水器に接続します。

【⚠ 注意】

ナットの締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【お願い】

・太陽熱温水器からの給湯側の配管は配管途中での立ち上がりが絶対にないように設置してください。立ち上がりがありますとエアロロック現象※）が起きる場合があります。

・太陽熱温水器は、本体（シャワー仕様の場合はシャワーヘッド）より4m以上の高さの所に設置してください。

・KF53N3仕様のみ給水圧力が高い場合は、太陽熱温水器へ逆流することがありますので止水弁を絞って流量を調節してください。（「流量の調節方法」を参照してください）

※ エアロロック現象…配管の下った部分が常に水が溜った状態になり、太陽熱温水器内のタンクの湯を全部抜いた時再度タンクを満タンにしても湯が出てなくなる現象。

イラストはKF53N3

太陽熱温水器

出湯側

給水側

4m以上

エアロロック現象が起きます。

ナット

接続

本体

止水弁

4

エアー抜き弁付逆止弁の取り付け(KF51C3・KM51C3のみ)

エアー抜き弁付逆止弁を太陽熱温水器の出湯側の本体接続ねじに取り付けます。

出湯側

接続

エアー抜き弁付逆止弁

給水側

本体接続ねじ

イラストはKF51C3

5

シャワーホースと吐水口の接続

① シャワー仕様のみシャワーホースをシャワーエルボに接続します。

② 吐水口を吐水口接続部に接続します。

締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。

【お願い】

締め付ける際は傷が付かないよう、あて布等をしてください。

シャワーエルボ

吐水口接続部

Xパッキン

② 吐水口

① シャワーホース

パッキン

イラストはKF53N3

取り付け後の点検と清掃

通水確認

【⚠ 注意】 水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナ清掃のお願い

吐水口のストレーナがつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

エアー抜き方法

万一、エアロロック現象で太陽熱温水器から湯が出なくなった場合、下記の方法でエアーを抜いてください。

KF51C3・KM51C3の場合

エアー抜きねじを少しずつあけてエアーを抜きます。

あける

エアー抜きねじ

イラストはKF51C3

KF53N3・KM53N3の場合

エアー抜き付逆止弁解除ボタン(1か所)を押してエアーを抜きます。

押す

エアー抜き付逆止弁解除ボタン(1か所)

流量の調節方法(KF53N3仕様のみ)

流量の調節は右記の方法で行ってください。

また、給水圧力が高い場合に、流量調節止水弁をしぼって流量を調節してください。

止水弁

しめる

あける

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。			
現 象	お調べいただくところ	処 置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない (シャワー仕様のみ)	吐水切換ハンドルはいっぱいまで回っていますか	吐水切換ハンドルをいっぱいまで回す	取扱説明書 4 ページ 「吐水の切換方法」
	止水直後シャワーヘッドから落ちる水滴はシャワーヘッド内の残留水です。故障ではありません		—
吐水量が少ない (シャワーが弱い)	(KF53N3仕様のみ) 止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7 ページ 「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	取扱説明書 6 ページ 「ストレーナの清掃方法」
	(給湯器使用の場合)ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
高温しか出ない	ストレーナは凍っていませんか	ストレーナにぬるま湯をかける	—
	(KF53N3仕様のみ) 止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7 ページ 「流量の調節方法」
低温しか出ない	(太陽熱温水器使用の場合) エアロロック現象が起きていませんか	エアーを抜く	7 ページ 「エアー抜き方法」
	(太陽熱温水器使用の場合) 太陽熱温水器から十分な湯がきていますか	太陽熱温水器の作動を確認する	—
	(給湯器使用の場合) 給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	(KF53N3仕様のみ) 止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7 ページ 「流量の調節方法」
	給湯源切換ハンドルはいっぱいまで回っていますか	給湯源切換ハンドルをいっぱいまで回す	取扱説明書 3 ページ 「給湯源の切換方法」
	(太陽熱温水器使用の場合) 太陽熱温水器から十分な湯がきていますか	太陽熱温水器の作動を確認する	—
	(太陽熱温水器使用の場合) 水の勢いが強い又は水圧が高くなっていませんか	流量を調節する	—
	(給湯器使用の場合) 給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	取扱説明書 6 ページ 「ストレーナの清掃方法」
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等がつまっていませんか	ストレーナを清掃する	取扱説明書 6 ページ 「ストレーナの清掃方法」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【⚠ 注意】 修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。